

# 東京病院ニュース

## 第25号

2009年7月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1

TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168

ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

## 平成20年度の臨床研究部活動実績について

臨床研究部長 庄司俊輔

最近、当院の臨床研究部にとって（というより東京病院にとって）非常に嬉しいニュースがありました。それは、国立病院機構本部から発表された「臨床研究部活動実績（平成20年度実績分）」において、東京病院が上位にランクされたことです。これは、全国の国立病院のうち臨床研究部（あるいは臨床研究センター）を配置してある120の病院について、平成20年度（平成20年4月から平成21年3月まで）の臨床研究部の実績が「臨床研究部活動実績ポイント」として点数化されたもので、内容別および領域別（これは後で述べます）に集計され、さらにその合計得点によりすべての病院がランク（順位）付けされました。さて、東京病院はどうだったかということ、総合得点が120病院中23位でした。天下の（？）東京病院にしては大したことではない、と思われる方もおられるかもしれませんが、この120の中には「臨床研究センター」が10入っています。当院の臨床研究部については前々回の東京病院ニュースで述べましたが、臨床研究部は、おおよそ研究室数が5か6で、室長はほとんどが医長の併任です。しかし「センター」になると「室」の上に「部」ができ専任職員もたくさんいます（もちろん部長が任命されます）。「部」の数は5か6で、その下に「室」が4から6ありますから、簡単に言うと規模は一般の臨床研究部の5倍か6倍ということになり、支給される研究費も桁違いになります。（余談ながら臨床研究センター長は副院長と身分も同格です）。こうしてみると、なかなか良い数字とは思われませんか？ちなみに、この「業績評価」は昨年からは始まっており、昨年の総合ランクは113の臨床研究部（センター）のうち31位でした。

それではその中身について少しお話ししたいと思います。まず評価をする対象（内容）ですが、大ざっぱに言うと、治験、共同研究、学会や論文の発表などになります。ここで特記すべきは治験です。治験はご存じのように新薬の開発の際に患者さんに調査、診療での協力をお願いするものですが、実は当院の今年度の業績には治験のポイントが大きく貢献し、全国9位でした（つまり一部のセンターより高値です）。もちろん、厚生労働科学研究や、医師のみならず、看護部、検査科、放射線科など院内各部署で発表した学会での実績や雑誌の総説などもすべて含まれています。また、この業績評価のもうひとつの特徴は、22の政策医療の

分野（主として、がん、呼吸器、消化器など疾患別のもの）で、別々にポイントが集計してあることで、実は、病院の中でそのポイントが一番高いところが、今後一年間のその領域での研究のリーダーになることが決められています。また、ポイント数によって、領域でのコアメンバー、一般メンバーが決められ、100ポイント以下だと研究グループの正式なメンバーとして認められません（申し出ることで参加は可能ですが）。東京病院はどうだったかということ、やはり、呼吸器と結核の領域ではポイントが高く、近畿中央胸部疾患センター（これはセンターを有しています）に次いで全国2位でした。あと、肝疾患が高く研究メンバーの資格を得ました。がん（呼吸器）、循環器、神経・筋疾患、免疫異常（アレルギー）もポイントは高かったのですが、メンバーになる点数には及びませんでした。

国立病院の使命にはふたつあり、ひとつはもちろん国民に質の高い医療を提供することですが、もうひとつは、上記の政策医療を実践、遂行することとされています。政策医療は、狭義には「国として行うことが必要とされるいわゆるセーフティネット」で当院での結核医療はまさにこれに該当しますが、それのみではなく、各診療科など病院の各部署が、診療のみでなく、学会発表や論文執筆を含めた臨床研究を行うことがこの中に含まれています。臨床研究部は、昨年度より病院全体より臨床計画の提出を求め、先日の臨床研究部運営委員会（委員長は中島院長）で、研究の承認と研究費の配付を決定しました。これをもとにして研究を行い、その結果を学会発表や論文掲載することで、臨床研究部の活動実績がさらに向上し、医療の質を含めた東京病院の評価が高まっていくことを期待しています。



## 清瀬市健康診査を東京病院で受けられます

専門職 大船 省三

今年度も東京病院で清瀬市健康診査を実施しています。今回は各科医長が担当していますので、清瀬市皆様の受診をお待ちしております。

平成20年4月より「特定健診」・「特定保健指導」の実施が各医療保険者において義務付けになりました。

これは、40歳以上75歳未満の被保険者及び被扶養者を対象にメタボリックシンドローム（内蔵脂肪型肥満）に対しての予防・解消に重点をおいた、生活習慣病予防のための新しい健診・保健指導です。保健指導につきましては、清瀬市で実施をいたします。また、清瀬市の後期高齢者医療健康診査につきましても実施をしております。

この機会にぜひ、生活習慣病を見直すきっかけとして健診を受けることをお勧めします。

受診希望者は、電話又は6番窓口で予約をお願いします。予約時間は、平日（月曜日～金曜日）の午前11時から午後15時です。

### 特定健診実施日

6月から11月までの

①月・火・水・木・金（祝日を除く）

②第2・第4の土曜日

12月においては、

月・火・水・木・金（祝日を除く）

### 予約窓口

⑥番窓口（8：30～17：15）

### 電話番号

042-491-2111（代表）

## 第2回地域医療連携交流会

副院長 茅野 真男

第二回地域医療連携交流会が、平成21年5月16日（土曜日）に当院大会議室において連携医12人のご出席を頂き行なわれました。

前回は当院診療科の紹介を行いました。今回は連携医と当院との連携に於ける問題点を議論しました。先ず登録連携医数が増加、特に清瀬市以外で増加している事が報告されました。その他、インターネットを使った当院の大型医療機器CT・MR、及び各科診療の予約システムが説明されました。

田村厚久呼吸器内科医長から、紹介して頂いた患者さんが院内でどの様な流れで治療されているのか、特に呼吸器科以外の心疾患・消化器疾患の対応が報告されました。

新藤直子リハビリテーション科医長からは、重症な歩行障害患者さんが、当院リハビリテーションで著明に改善し歩行可能となった2症例が報告され、急性期リハのみならず、その後の時期でも連携医のリハビリテーションへの判断の重要さが確認されました。

中島医院の中島美知子先生からは、全人的医療が必要だった症例として、家族の悩み等を含めての対応及び大病院との連携の効果が話されました。



## 肝臓週間講演会

病棟診療部長 矢倉 道泰

去る5月23日(土)に肝臓週間に因んで「肝臓病の最新の話題」と題して一般市民を対象に講演会を開催しました。これは毎年5月の第4週目を“肝臓週間”と称して日本肝炎ウイルス財団が国民の皆様へ肝臓病についての知識を広めていただくための啓蒙活動を行っているものです。同じ時期に全国各地で肝臓専門医により講演会が開かれました。当院では今回で12回目となります。当日は新型インフルエンザが騒がれていた時期にもかかわらず一般市民の方々を始め当院や他院に通院中の患者様やそのご家族など65名の参加者があり大盛況でした。最後まで講演を熱心に聴いて下さり、終了後、質疑応答と当科の医師による個別相談を行いました。今後も毎年この活動を続けていくつもりです。また当院では3年前から肝疾患の患者会である“肝疾患談話会”を2か月に1回定期的に行っており、肝疾患のみならず食事療法、くすりの話など多岐にわたり、こちらも毎回参加者が増えています。参加資格は特にありません。肝臓病でない方でも肝臓病について知りたい方や興味のある方はどなたでも参加できます。



よる酸素使用中の日常生活の注意点についての講義、樋口理学療法士による呼吸リハビリテーションの講義および実演を行いました。どの内容もわかりやすく、特に日常生活の注意点の話では、酸素使用中の火気の取り扱いについて、具体的な場面を寸劇を取り入れて説明され、とても楽しく学ぶことができたこと好評で、短いながらも有意義な時間となりました。次回の開催は平成21年10月29日(木)の予定です。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

## 「面会の案内について」

庶務班長 信澤 武

平成15年5月30日に施行された「個人情報保護法」に基づき、当院ではお見舞に来られた方への「入院患者に関する病棟」及び「入院しているかどうかの確認」など患者さまの個人情報に関するお問い合わせは、お断りさせていただいております。

その際に、「来たんだから教えろよ」などのご意見を頂戴する場合がありますが、主旨をご理解いただきご協力いただきますようお願いいたします。

当院では、入院されている病棟が分かっている方には、病棟への行き方のご案内しておりますので、ご入院される時は知人友人に入院病棟をお知らせください。また、お知り合いの方がご入院になり、お見舞いにお見えになる際は、必ずご家族などから入院病棟をご確認いただいております。

## 在宅酸素(HOT)の会を開催して

5階西病棟 中山 智子

当院では毎年春・秋に在宅酸素療法患者の教育と生活の質向上を図ることを目的に、在宅酸素(HOT)の会を開催しています。去る5月28日(木)、第29回在宅酸素の会が開催されました。新型インフルエンザの影響が懸念されましたが、在宅酸素療法を受けている方とご家族など60名の参加がありました。今回の内容は、庄司統括診療部長による喘息についての講義、呼吸療法認定士でもある吉岡・野村看護師に



## 後期臨床研修医紹介

### 伊藤 三郎

4月より呼吸器科医師として慈恵医大から参りました伊藤三郎と申します。私自身は呼吸器を専門と志してからはまだ日が浅く、多くの経験を有する先生方やレベルの高いスタッフの方々と東京病院で働けることはこの上なくありがたく、忙しくも楽しい日々を過ごしております。



私が現在勤務している5西病棟は肺結核後遺症などの慢性呼吸不全の患者さんや睡眠時無呼吸症候群の患者さんが多く入院してこられ、在宅酸素や在宅NPPVの導入・調整を多くやっております。病棟医長の松井弘稔先生や同僚のスタッフ・看護師さん達と共に、個々の患者さんにとって最も良い酸素療法を！と思い試行錯誤を重ねる毎日です。NPPVの機種の変更・マスクの変更・設定の変更などを経て最適の酸素量・設定を決め、患者さんの呼吸不全がみるみる解消され症状も改善していく時には何とも言えない達成感があります。また看護師さん・理学療法士さん・酸素業者さんなどのちょっとしたアドバイスが劇的な効果を生むことも多々あり、まさしくチーム医療の重要性を実感しております。今後もこれまで以上に、スタッフ同士で意見を言い合いながら呼吸器の病棟としてますますの充実を目指していけたらと考えております。

もちろん呼吸不全だけでなくすべての呼吸器疾患に対応できるようになるべく、日々研鑽を積んでいこうと考えております。今後とも、幅広いスタッフの方々からのご指導・ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

### 黒崎 裕一郎

東京病院の症例は市中病院での症例と異なり患者背景が複雑でまた珍しい疾患を数多く経験できたいへん勉強になっております。

この病院で結核をはじめとして患者さんの病態を深く追求する姿勢を身につけ次に生かしていけるよう、精一杯頑張るつもりです。

広島大学時代、テニス部に所属していました。清瀬にはテニスコートもたくさんあるようです。機会があればぜひ一緒に運動をしましょう。



### 赤司 俊介

4月より呼吸器科後期研修医に採用になりました赤司と申します。現在は主に病棟で入院患者さんの担当をさせていただいています。今まで別の病院で、呼吸器内科医として勤務しておりましたが、スタッフも少なく、業務量も莫大であり、淡々と診療をこなす日々が続いていました。そこで、自分の診療に関し、よりレベルアップを目指したいと常日頃思っておりました。診療に関してさらなる知識と経験を得るために、多くの高名な指導医の先生方、豊富な症例数を誇る東京病院はまさに相応しい病院だとの話を聞き、是非とも働いてみたいと思い、後期研修医に応募し幸いにも採用していただきました。4月からは東京病院に赴任しまして、患者さんも多く多忙を極めますが、それ以上に多くの刺激を受け、日々の診療に励んでいます。まだまだ不慣れな部分もありますが、患者さん、医療スタッフと共に二人三脚で適切な医療を行っていけるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくようお願い申し上げます。



### 日下 圭

今年の4月からレジデントとして東京病院にお世話になることになりました日下と申します。医師としては今年で5年目になりますが、それまでは300床弱の小さな病院で一般内科として研修してきました。

80～90歳代の患者さんが中心でしたので、医療的な問題もそうですが、社会的問題の占める割合が大きく、日々その解決に追われていました。東京病院に来てからは患者さんの診療はもちろんですが、カンファレンスが多く個々の症例に対するディスカッションも盛んで、呼吸器疾患について専門的に学ぶことができています。

また今年同期で入職したレジデントは10人と仲間にも恵まれ、切磋琢磨しながら忙しいなかでも楽しく日々を過ごしています。

まだまだ分からないことばかりで先生方を始めスタッフの方々にご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、今後ともよろしくお願いたします。



## 『看護の日』

5月12日はナイチンゲールの誕生日であり、毎年各地で様々な催しが開催されています。当院でも地域の皆様との交流や患者様に少しでも安らぎを感じてほしいと考え毎年行っており、今年は5月14日に開催しました。

午前中は健康チェック（身長・体重・血圧・体脂肪・酸素飽和度・骨密度・血管年齢の測定）、福祉介護具や栄養食品の展示、医療相談、薬剤相談を行いました。健康チェックでは昨年好評だった血管年齢測定や骨密度測定を今年も実施し、多くの方々に参考になったとのご意見をいただきました。介護用品コーナーや栄養相談では、業者と栄養士の方々から品物を手に取りながら説明を受けたり試してみたりできてよかったですこちらも好評でした。医療・薬剤相談では医師や薬剤師に直接話を聞いてもらえるため、普段疑問に感じていたことが解決できた・良いアドバイスがもらえたとの意見をいただきました。午後には外来待ち合いホールに於いてボランティアの杉本ご夫妻によるダンスと和田様によるピアノコンサートを催しました。地域の方々はもちろん、この行事を楽しみにされている入院患者様やご家族の方も多く、沢山の方が参加されました。優雅なダンスを目の前にしていると、一瞬外来ホールがボールルームに感じられました。また、心温まるピアノ演奏では職員によるコーラス隊や参加者全員での歌もあり多くの方に楽しんでいただき、音楽の素晴らしさを満喫していただけたと思います。

今回、看護の日の行事を通して、多くの方々から率直なご意見、素敵な笑顔を頂き貴重な経験をさせていただきました。この経験を日々の看護に活かし患者様に満足していただけるよう取り組んでいきたいと思っております。ご参加・ご協力いただいた関係者の方々に感謝いたします。

「看護の日」実行委員長 竹山 麻紀



＜健康チェック＞



杉本ご夫妻による社交ダンス



和田様によるピアノ演奏

## 永年勤続30年を迎えて想うこと

今年4月、中島病院長より永年勤続の表彰状を頂いた。「30年間、国立病院での勤務。我ながら長く続いた」と平常心でこのようなことを思いながら椅子に掛け、表彰状を受ける順番を待っていた。名前が呼ばれ前に進み出て、院長より表彰状を受取ると、不思議に胸にジーンと感じるものがあった。色々なことを思い出した。(看護学校、就職、結婚、出産、子育て等々……)

小学校のころから憧れていた職業看護師、決して楽しいことだけではなかった看護学校時代。臨床実習での患者さまとの関わりの中での喜びや、実習記録が書けず徹夜した思い出。看護学校卒業後は、実習先で尊敬できる看護師長との出会いと、その病棟スタッフのチームワークの素晴らしさに「この病院に就職するならこの病棟以外はない」と心に決め、就職を決めた。これが私の看護師のスタートライン。しかし、看護学校を卒業し、国家試験に合格すると「一人前の看護師だー」となぜか勘違いをしていた。カンファレンスの時は先輩の意見にも臆することなく反対意見言い、少々生意気な面もあった。(今となると赤面するほど恥ずかしい) きっと、患者さまに対してもそのような態度が知らず知らずのうちに出ていたかもしれない。

看護師となり数年が経ったある時、父が脳梗塞で倒れた。救急病院で急性期治療を受け、リハビリ病

院に転院した。このことで、患者の家族という立場から、病院の職員を観る体験をした。強く感じた事は「看護師さんって忙しそう」「ナースコール押すのってこんなに勇気がいるのだ」「患者さんや家族に、もう少し優しく声掛けしたらいいのに」等々であった。このことで、私自身も日々の看護師としての自己を振り返った。「患者さんと向き合う」「その時間がなければ時間を作る事を考えよう」と。不思議と患者さまとの接し方に変化が現れた。「焦って仕事をしてても何事も良い結果は出ない、焦らなくてもいいのだ」とこの経験から学んだ。

仕事を続ける意味はそれぞれに違う。しかし、一つ一つの経験や体験が、自分自身でも気付かない何かに気付かせてくれていることは確かである。

この職業を30年間継続できたことを、今まで支えて下さった方々全てに感謝し、そして「継続は力」という言葉を信じて。



有難うございました。

看護部 佐野 千恵子



# 7階東病棟

～7階東西は結核病棟です～



わきあいあいとした  
チームワークで患者様  
と共にDOT（内服支援）  
を行っています。



元気な挨拶  
でみんなも  
笑顔(^o^)/



経過の長い患者  
様へ、まごころ  
こめた看護を提  
供しています♡



毎週木曜日の風景(^\_^)

新患者様のカンファレンスを行っています。

医長先生満面の笑み！

みんな真剣に取り組んでいますよ☆

専門外来案内

専門外来名	臓	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
肝	臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。
呼吸器関係外来	喘息	火(午後)	「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	禁煙(予約制)	水(午前) 木(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[30分:5,250円]
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	月(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	気胸	火	突然の胸痛、息苦しさを感じます。
	いびきCOPD(睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
アスベスト(予約制)	水(午前)	アスベスト(石綿)を扱うお仕事をされた方。 アスベスト吸入による肺の病気について御心配な方(予約制です)	
手掌多汗症	金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。 (汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診。)	
糖尿病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。 (無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)	
緩和ケア	木・金(午前)	苦痛の緩和を必要とする悪性腫瘍やエイズによる痛み等いろいろな症状でつらい思いをされている方。	

受付時間 8:30~11:00 診療時間 8:30~17:15  
 午後の専門外来は、12:30より受付  
 休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

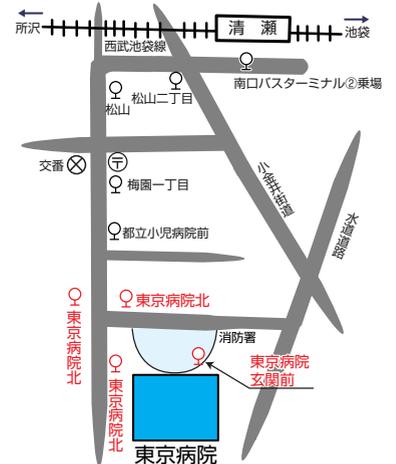
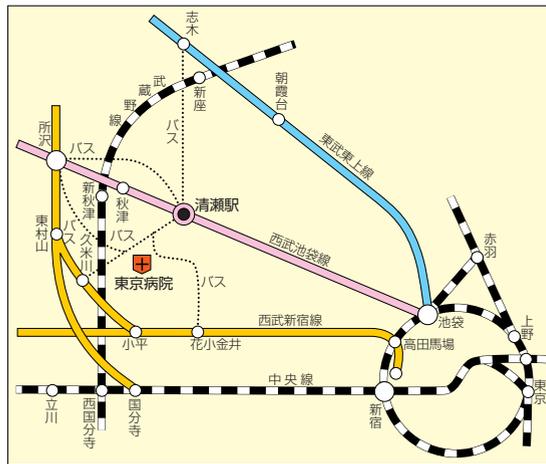
代表電話番号 042-491-2111  
 内線番号がおわかりの方は042-491-4134  
 (ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125(8:30~15:30)  
 CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934(8:30~17:15)

診療内容 病床数560床

- 呼吸器科
- 消化器科
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 神経内科
- 内外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 整形外科
- 緩和ケア科
- ICU(集中治療室)
- アレルギー科
- 泌尿器科



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅南口バス3番乗り場より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)  
 30分以内 無料  
 31分~2時間 100円  
 以後1時間毎 100円  
 (20時15分~7時 1時間毎300円)